



記 者 発 表 資 料

令 和 7 年 2 月 7 日

農政部農村振興課技術管理班

担当：加藤、小只、佐々木

電話：022-211-2865

E-mail：nosonshing@pref.miyagi.lg.jp

「農業農村整備事業広報大賞」において、県と高校による 共同の活動が「優秀賞」を受賞しました。 ～高等学校では全国で2校目の受賞！～

「農業農村整備事業広報大賞」は全国農村振興技術連盟(※)が主催し、農業農村整備事業の意義・役割・効果について優れた広報活動を行った団体等を毎年表彰しています。

このたび、北部地方振興事務所農業農村整備部と小牛田農林高等学校が連携して平成18年度から継続して実施している「農業農村整備事業学習会」活動が評価され、高等学校としては全国で2校目となる「優秀賞」を受賞しました。

この学習会は、農業土木を学んでいる高校生が、農業農村整備に携わる方々の生の声を聞き、実践的な現場実習を体験することで、学習意欲向上や進路選択に役立ててもらうことを目的としており、活動開始以降21名が宮城県職員（総合土木職）として入庁するなど、農業農村整備事業や県職員の仕事への理解向上につながっています。

※全国農村振興技術連盟：農村振興に係る技術力向上に向けた取組、農村振興に携わる者の情報交換、農業・農村について国民への情報発信・広報等の活動を通じて、農村振興の重要性の社会的評価を確立することを目的とする農業土木技術者等の組織

1 令和6年度農業農村整備事業広報大賞「優秀賞」の概要

受賞活動：小牛田農林高等学校農業農村整備事業学習会

受賞者名：宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部、宮城県小牛田農林高等学校

2 小牛田農林高等学校農業農村整備事業学習会の具体的取組

- 対象：同校農業技術科農業土木コースの1年生
- 取組：①県職員による講義（農業農村整備事業の概要、卒業生の活躍状況）
②ワークショップ（「みやぎの農業を守るには」をテーマにグループ討議）
③土地改良施設・工事現場における測量などの実践的な現場実習
- 成果：学習会実施前後で公務員希望者の増加や、県へのインターンシップにより県職員の実際の仕事のイメージが良くなったなど県の農業土木職員の仕事をより身近に感じる機会の創出に繋がっている。



現場実習



ワークショップ

3 表彰式について

日 時：令和7年2月12日（水）16：30～17：00（令和6年度東京フォーラム内）
場 所：東京都港区新橋4-24-8 TKP新橋汐留ビジネスセンター ホール201
なお、表彰式には小牛田農林高等学校の生徒も出席予定です。